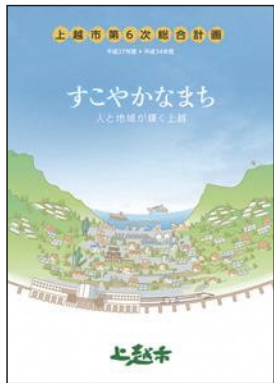


02 point
第7次総合計画



第6次総合計画

総合計画とは、市の最上位計画であり、これからの市政運営の総合的な指針となるものです。
新しい第7次総合計画は、令和5（2023）年度から令和12（2030）年度までの8年間の計画です。

将来都市像
暮らしやすく、
希望あふれるまち上越

将来都市像とは、令和12（2030）年度に上越市が目指すまちの姿です。



04 point
市民いこいの家

浴場の廃止

令和5年3月31日



浴場の廃止後は、高齢者の趣味活動の場・作品展示の場・地域の交流の場として施設の利活用に向けた取り組みを進めます。

03 point
副市長の給料カット

人口減少緩和に取り組む決意と姿勢を示すために給料を減額した市長の考えに副市長が同調し、減額を申し出ました。

減額前 約73万円/月 → -10% 減額後 約66万円/月

副市長2人合わせて
年間280万円減



10月臨時会

年4回の定例会のほかに、緊急に審議しなければならない場合に、臨時会が開催されます。

point
子育て世帯への支援給付金

今回の臨時会では、物価高騰等の影響が大きい18歳までの児童がいる子育て世帯に対する支援が決定しました。

児童1人当たり
1万円支給

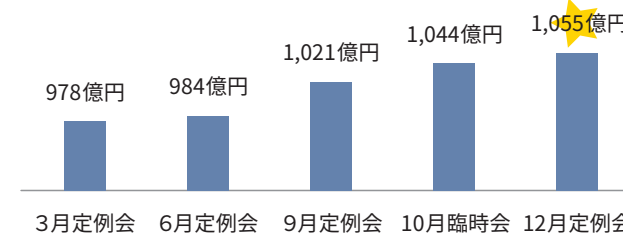
05 point
通園・スクールバスの置き去り事故を防ぐ安全装置

通園バスに児童が長時間に渡って置き去りにされ、死亡する事件が他市で発生したことを受け、通園バス等にブザーを使った安全装置などが設置されます。

総事業費
1,141万円
89台分



令和4年度の市の予算推移



新型コロナウイルスワクチンの接種費用や物価高騰対策の費用などが増額されてきました。

12月定例会の補正予算の主な内容は、エネルギー価格高騰により、公共施設等における光熱水費などに不足が見込まれることから、所要額が増額されました。また、上越市第7次総合計画基本構想及び基本計画の策定などが提案されました。今定例会の注目すべき5つのポイントをご紹介します。

01 point
電気・ガス料金等の高騰への対応

エネルギー価格の高騰に伴い、不足が見込まれる市の直営施設等の燃料費、電気料金、ガス料金が増額されました。

増額前 11.8億円 → +4億円 増額後 15.8億円



令和4年度の補正予算などを審査する

12月定例会

3・6・9・12月に開催される定例会のうち、12月定例会の内容をお届けします。

12月定例会は、主に今年度の補正予算を審査しました。

12月定例会の流れ

- 1 市長による議案の提案説明 11/30㊟
- 2 総括質疑 11/30㊟
議員が提案された議案に対し質疑を行う
- 3 委員会付託 11/30㊟
4つの常任委員会に審査を付託することを決定
- 4 常任委員会 12/1㊟～6㊟
総務・厚生・農政建設・文教経済の各常任委員会に分かれて審査
- 5 一般質問 12/7㊟～12㊟
議員が市政全般に渡って質問し、市の見解を聞く（関連記事10～18ページ）
- 6 委員長報告 12/14㊟
各常任委員会での審査結果を全員で共有
- 7 討論 12/14㊟
議案等に対して賛成か反対とその理由を表明し、意見をたたかわす（関連記事8ページ）
- 8 採決 12/14㊟
議案等の可否を決める（関連記事9ページ）